

## ツキヨタケによる食中毒が発生しました

### 1 発生概要

- (1) 発生日 10月13日(木)
- (2) 原因施設 家庭
- (3) 摂食者数 2名
- (4) 発症者数 2名(男1名(70代)、女1名(40代))(通院者2名)
- (5) 原因食品 ツキヨタケ
- (6) 原因物質 植物性自然毒
- (7) 主症状 おう吐
- (8) 摂食時間 10月13日(木) 18時30分頃～
- (9) 発症時間 10月13日(木) 20時頃～

### 2 発生の探知および調査の概要

- (1) 10月14日(金) 8時30分頃、市内医療機関から市保健所に「キノコによる食中毒を疑う患者が受診している」旨の連絡があった。
- (2) 直ちに太白区保健福祉センターおよび青葉区保健福祉センターで調査を開始したところ、発症者は10月13日(木)に自宅近くの山林でキノコを採取、同日夜に自宅で調理し、18時30分～19時頃にかけて2名で喫食したところ、20時頃からおう吐の症状を呈したことが判明した。発症者は受診時にキノコの残品を持ち込んでおり、青葉区保健福祉センターによる採取状況の聞き取り、残品の確認および仙台キノコ同好会の鑑定の結果、ツキヨタケであることが判明した。
- (3) 市保健所では次のことが判明したため、採取したキノコ(ツキヨタケ)を原因とする食中毒と断定した。
  - ①発症者は自宅近くで採取したツキヨタケを調理して喫食していたこと。
  - ②発症者の症状および潜伏時間がツキヨタケによる食中毒症状と一致したこと。
  - ③患者を診察した医師から、食中毒の届出があったこと。

(参考) 食中毒発生状況【宮城県内( )内仙台市分再掲】\*今回の発表は含まない

	発生件数	患者数	死亡者
本年1月から10月14日まで	25(13)	205(103)	1(0)
昨年同期	11(6)	362(97)	0(0)

(参考) 原因物質別発生件数【宮城県内( )内仙台市分再掲】\*今回の発表は含まない

原因物質	ノロウイルス	カンピロバクター	ウエルシュ菌	アニサキス	自然毒	化学物質(ヒスタミン、洗剤)	その他(原因不明等)
本年1月から10月14日まで	6(5)	6(4)	1(0)	2(1)	4(0)	3(3)	3(0)

# ツキヨタケによる食中毒について

## 1. ツキヨタケの特徴

- ◆ 主に夏から秋にかけて、ブナなどの枯れ木に重なり合って発生する
- ◆ 傘は半円形で、初めは黄褐色で、成熟すると紫褐色～暗紫褐色で、大きさは8～20 cm程度
- ◆ ひだは白から薄い黄色で暗闇で青白く発光する
- ◆ 柄は太く短く、傘の片方につくものが多い
- ◆ 毒成分はイルジンS
- ◆ ヒラタケ、ムキタケ、シイタケなどと間違われることが多い

## 2. 症状

- ◆ 食後30分から1時間程度で、おう吐、下痢および腹痛などの症状が現れます

## 3. 参考

- ◆ 厚生労働省HP

[http://www.mhlw.go.jp/topics/syokuchu/poison/kinoko\\_06.html](http://www.mhlw.go.jp/topics/syokuchu/poison/kinoko_06.html)

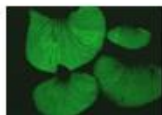
- ◆ 仙台市HP（毒キノコのページ）

<http://www.city.sendai.jp/sekatsuese-shokuhin/kurashi/anzen/ese/shokuchudoku/dokukinoko.html>



傘は通常半円形または扇型であるが、円形のものも報告されている（上）。

黒いシミがあるものが多い。黒いシミがほとんどないものもあるので注意が必要である。



暗闇で目が慣れれば、青白く見える。カメラで一定の露出時間で撮影すれば、蛍光緑色に確認できる（F5.6 で1時間40分）。

ツキヨタケ写真  
<厚生労働省HPより>